

JCD

Kansai

2018.3.Vol.73

M. OSUGA



すべてが違う。

ZERO

LANDSCAPE LIGHTING ZERO

ベーシックなフォルムに最先端のLED照明技術と最高の質感を持つワンランク上の屋外照明シリーズ

重耐塩仕様 標準化

全製品が重耐塩仕様で、海岸より200m以内の場所でも安心

塗装色の別注 同一価格

別注のカラーオーダーでも、カタログ表記と同価格で対応

〈ZERO -ゼロ-〉スペシャルサイト

このスペシャルサイトでより深い
〈ZERO〉のこだわりを公開中!!



スペシャルサイトURL <http://www.lighting-daiko.co.jp/zero/>

大光電機株式会社
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル

DAIKO
<http://www.lighting-daiko.co.jp>

JCD Kansai 2018.3 Vol.73

[表紙・水彩画]
「道頓堀 戎橋」
名誉会員 大菅 満義



2018年(平成30年)3月号
vol.73 平成30年3月発行
発行/(一社)日本商環境デザイン協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(一財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会
委員長/齋藤 俊二
担当理事/東 潤一郎
委員/岡島 昇(副委員長)
栄 隆志
白井 進
中山 拓
安部 洋子(東リ)
田中 佑佳(田島ルーフィング)
谷藤 好恵(コイズミ照明)
西田 豊彦(コイズミ照明)
都田 香(エスケー化研)
森島 晃(東リ)
村田 みどり

制作/グラフィックアーツ ベルテ

(一社)日本商環境デザイン協会 関西支部
JCD KANSAI 2018年3月 第73号

04 ● 報告

JCD関西支部活動報告

2017年度 JCD関西支部 活動基本方針

2017年度 関西支部集会 ————— 東 潤一郎

06 ● 特集

JCDデザイン賞

JCDデザインアワード2017 審査経過報告 ————— 笠原英里子

審査総評 ————— 橋本夕紀夫

大賞評 ————— 小坂 竜

大賞/金賞/銀賞 他

11 ● 報告

委員会活動報告

2017年 日本の空間デザイン展 ————— 齋藤 俊二

関西デザイン学生シンポジウム2017 ————— 栄 隆志

夏休み!親子de体験セミナー こどもたちと創る空間 ————— 中村 裕輔

JCD関西支部 春の学生向けイベント「履歴書を書く前に」 ————— 益田 裕紀

JCD関西支部 クリスマスイベント「空間の未来へ」 ————— 橋本 健二

16 ● 報告

委員会報告

2017年度 賛助委員会 活動報告 ————— 衣川 正一

2017年度 広報委員会 活動報告 ————— 齋藤 俊二

17 ● 連載

Working Now

新入会員紹介 ————— 中山 拓

新入賛助会員紹介 ————— (株) プレンティ

2017年度 JCD関西支部 活動方針

集って楽しいJCD関西の復活! 昨年度の「検討」の年から「実行」の年へ!

【委員会活動の更なるレベルアップ】

- 研究委員会 委員長:橋本健二 副委員長:益田裕紀
- 広報委員会 委員長:斎藤俊二 副委員長:岡島昇
- 交流委員会 委員長:浦田恭資 副委員長:高橋健太
- 賛助委員会 委員長:衣川和弘 副委員長:沖山聡弘

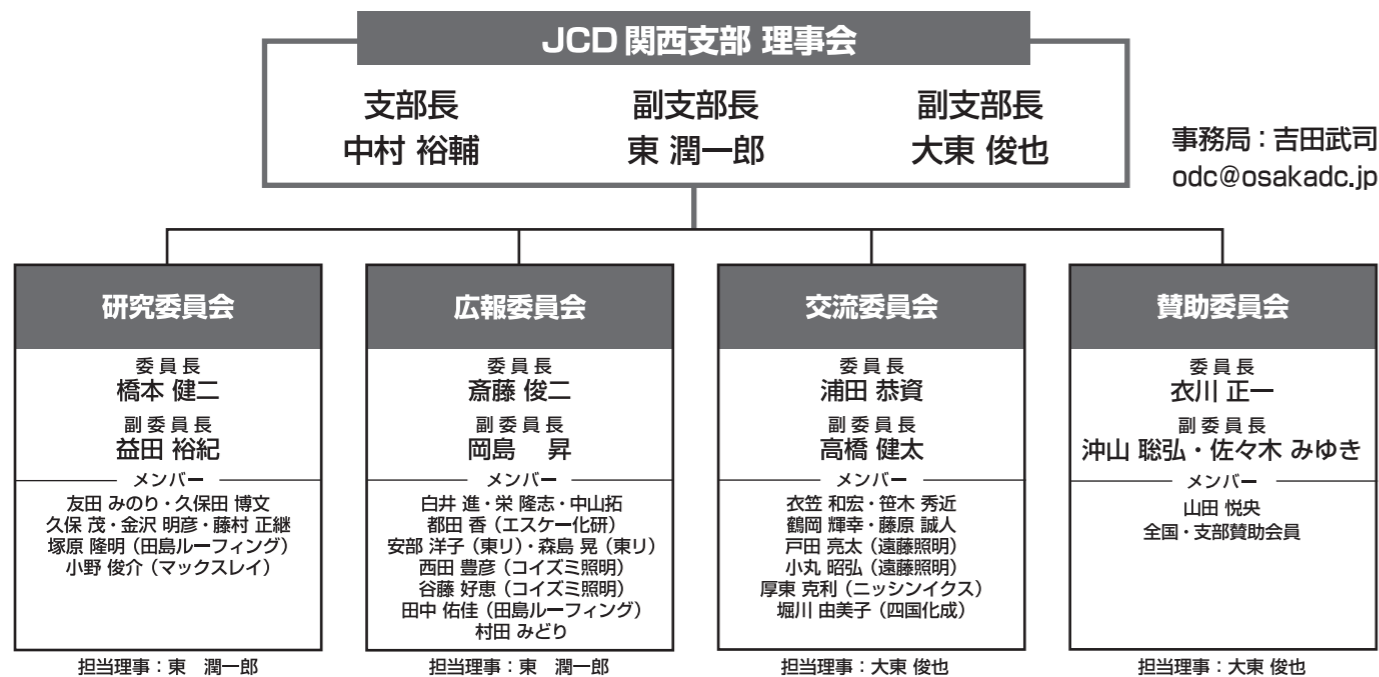
【2017年活動計画】

- ・新規イベントの開催3件
- ・会員システムの刷新
- ・Facebookの充実と更なる活用
- ・SODA事業の拡大
- ・大学・学生との関係の強化
- ・他団体との連携強化
- 4月 学生向けセミナー開催 4/8 (セミナー・ポートフォリオアドバイス会・懇親会) 参加者58名(学生34名、引率1名、一般2名、ゲスト9名、スタッフ12名)
- 6月 支部集会開催 6/19(賛助会員PR会・懇親会)
- 7月 賛助会員バーベキューパーティ開催 7/20
- 7月 SODA事業 住まい情報センタータイアップ事業開催 7/29
- 8月 ビアパーティ開催
- 9月 関西学生シンポジウムの開催
- 10月 学生向けセミナー開催(セミナー・ポートフォリオアドバイス会・懇親会)
- 12月 クリスマスイベント開催
- 12月 4団体連合「日本の空間デザイン展」開催
- その他活動
デザインセンター大阪「SENBAサロン」への協力(年間5回)

【2016年活動の振り返り】

- 6/20 支部集会開催 新体制による活動スタート レストランコンタクトにて 参加者53名
- 8/29 ビアパーティ開催 OAPタワーパーク・バカージョにて 今後の活動内容の報告・賛助会社の紹介・学生参加者の紹介 参加者62名(正会員19名 賛助会員28名 16社 一般4名 学生11名)
- 9/27 関西学生シンポジウム開催 サンワカンパニーにて 4団体共催による学生シンポジウム
- 12/6 クリスマスイベント「空間の未来へ」開催 ライブハウス ガンズトイトイトイにて トークセッション「舞台と空間の関係」 デザイナーバンドによるライブ 参加者131名(正会員17名 一般41名 賛助会員71名 19社 学生2名)
- 12/15~12/19 「日本の空間デザイン展」開催 サンワカンパニーショールームにて 4団体合同イベント 来場者70名
- 12/17 「親子de体験セミナー-子どもたちと創る商店街」開催 住まい情報センター タイアップ事業 デザイナーの仕事紹介&天神橋筋商店街見学&模型のワークショップ 参加者53名(小学生29名、保護者24名)
- その他活動
 - ・JCD Kansaiの発刊
 - ・大阪デザインセンター主催「SENBAサロン」の協力
 - ・「第8回大阪市あきないグランプリ」審査員として参加

2017年度 (一社)日本商環境デザイン協会・関西支部 組織表



2017年度 関西支部総会

関西支部 副支部長 東 潤一郎

2017年6月19日(月)会場は北堀江シャルボンにてJCD関西支部・支部集会が開かれました。

まず、中村支部長からJCD関西支部の2017年度の活動方針が発表されました。「集ってたのしいJCD関西の復活!昨年度の「検討」の年から「実行」の年へ!」と、昨年から新体制をより具体的活動として実行していくとの表明でした。次に2016年度の活動報告があり、定例イベントの活性化や、新イベント「学生向けイベント」の開催などの内容でした。中村支部長の強い牽引力の元、着実に一歩踏み出した一年だったと実感できる内容でした。引き続き、今年度の活動計画の発表があり、より活気あるJCD関西支部を目指す内容でした。

日時: 2017年6月19日(月)
 支部集会 17:00~18:00
 賛助会員PR会&懇親会 18:00~21:00
 場所: カフェシャルボン
 参加者数: 参加58名(正会員13名、賛助会員41名、一般4名)

その後、賛助会員各社のPR会と懇親会が開催されました。各社から一番注力している商品のプレゼンテーションを頂きました。今回は展示ブースが広いこともあり、大変盛り上がったPR会となりました。毎回、興味深い商品が多く、とても楽しいコーナーです。懇親会も、お食事とお酒で歓談が進み、あっという間の2時間でした。正会員、賛助会員の楽しく意義深い交流の時間となりました。



JCDデザインアワード 2017 審査経過報告

JCDデザインアワード委員会 委員長 笠原 英里子

JCDデザインアワード2017は、昨年同様 1.ショップ空間 2.食空間 3.大規模商空間 4.サービス・エンターテイメント空間 5.文化・公共コミュニケーション空間 6.公共生活空間の6部門別で作品を募集した。応募総数は618点という昨年の過去最高を更に100点近く上回る数となり、このアワードが認知浸透してきたことが窺える。海外からの応募点数は109点とアジアを中心に今年も増加を続けている。

一次審査では審査員27名のネット審査によってBEST100の作品110点を選出。二次審査は7月1日東京デザインセンターにて公開審査形式で行われた。審

査員は橋本夕紀夫を審査委員長として青木淳、五十嵐太郎、グエナエル・ニコラ、小坂竜、鈴木恵千代、武石正宣、谷尻誠、Horace Pan、森田恭通各氏の10名に依頼。

まずBEST100から銀賞以上23作品を部門別に選出、その中から金賞以上6作品を選んだ。最終選出では金賞以上の作品を各々再検証し、最後は満場一致で中村竜治氏の作品を大賞に選出した。

今年は最多10人の2次審査員を招聘して審査を進めたが、大規模空間から極小空間まで同レベルの評価軸で議論が交わされる、空間の意味を問う審査となった。

JCDデザインアワード 2017 審査総評

橋本 夕紀夫

JCDアワード2017に入賞したいずれの作品も高い完成度を持ち、新しいデザインの可能性を示すものであった。とりわけ大賞となった「JINS 京都寺町通店」は、既存の建物の中に少し隙間をあげながらRCの建築を挿入している。古い建物と新しい建物が共存することにより街並みに面白いリズムを与えている。さらに、今回の審査で最も議論されたのが銀賞の「黄金町の切込」である。どこにでもありそうな何の変哲もない2階建ての建物の一部がスリット状に開口され、さらにそのスペースの対角線上に壁が建てられた空間である。一見すると斜めの壁によってパースペクティブが

強調されているので、家の中にまたさらに路地が出現したかのように見える。この作品もまたインテリアと街並みの関係を強く意識して作られたものである。その他、大規模店舗においても「枚方T-SITE」は書棚が外部に張り出していくようなファサードが作られており、周りの環境に大きく開かれた商業施設が形成されている。いずれにしても今回の審査を通じて商空間の持つ役割が緩やかに変化しつつあるように見受けられた。商業という明確な目的と個性を持ちながらも、周囲の環境、街並みとの関係性をより強く求めるものが増え始めているように思えた。

●選考点数一覧表

	応募総数			入賞 点数
	国内	海外	計	
1 ショップ空間	102	16	118	10(6)
2 食空間	107	26	133	3
3 大規模商空間	22	7	29	3(1)
4 サービス・エンターテイメント空間	88	22	110	3
5 文化・公共コミュニケーション空間	49	10	59	3(4)
6 公共生活空間	141	28	169	1
合計	509	109	618	23(11)

※括弧内の数字は他の賞と同時受賞している作品

	大賞	金賞	銀賞	新人賞	審査員賞
1	1	2	7		6
2			3		
3			3		1
4		2	1		
5		1	2	1	3
6			1		
	1	5	17	1	10



DOLCE & GABBANA 青山店

(株)キュリオシティ/グエナエル・ニコラ

撮影:繁田諭



JINS 京都寺町通店

(株)中村竜治建築設計事務所 / 中村竜治

撮影:ryuji nakamura & associates

今回のJCD デザインアワードの応募総数は例年を大きく上回る618作品が集まり、うち109作品が海外からのエントリーであった。一次審査を経て110作品に絞られたレベルの高い作品から各賞を選ぶ二次公開審査となった。

審査員も例年より多く10名、空間に携わる独自の視点を持つメンバーの為、大賞を決める際には、様々な意見がぶつかり合い、従来よりかなり時間を要し難航するものと誰もが予測していた。ところがあつという間に、ほぼ満場一致でJINS京都寺町点が選ばれた。

各審査員からは、「大賞としてどの点がどの様に相応しい」という様々な意見が交換された。10名の評価ポイントは同じものではないにも拘らず、各審査員の様々な目線角度からの非常に高い評価を獲得した。端的に言うと圧倒的に突出していたと云える。正直、私は一次審査から携わっていたが、当初から618作品の中で、群を抜いての存在感を感じていた。

この作品は京都寺町通りに位置する全国展開している眼鏡店である。周辺は京都らしい昔ながらのお店が軒を連ねているアーケード街。人の往来の多い路面に不思議な空間が開かれている。広い開口部にコンクリートの平屋が2つ並び、通りの人々を誘引している。その素材は躯体のままの質感を持ち、その軒の高さも極端に低く抑えられている。立面的に見ると、ファサード開口部の中の平屋の上は白く塗られたスケルトン空間で、空調や照明などの荒々しい設備スペースが丸見えになっている。

まず単純にそのコントラストがとても面白い。コンクリート製の壁には白いグラフィックがペイントされ、白い剥き出しの空間に包まれた美しい灰色の廃墟の様な佇まいである。その平屋の下が展示空間となっていて白い大きな塊の上に眼鏡が整然と陳列されている。

奥行き異なるそれぞれの平屋は平面的に既存空間と縁を切り独立して配置されている。それぞれの平屋を奥に抜けた外が、待合、検眼、レジスペースなどの機能スペースとなっている。またそれぞれの平屋は左右の白い壁と微妙な隙間を持ち構築されていて平屋の外と内を強く意識させている。両外側の白い壁に眼鏡店の機能として必要な鏡を設置し、平屋の中からも一つの平屋を見ると、水平方向に無限に広がる平屋の連なりは、京都の街の在り方を喚起させる。路面の商業スペースの店舗中に、空間と縁を切って、動かさないそして動かない建築(平屋)を本気で造るという発想はとても興味深く、またその巧みに計算された建物のボリュームは秀逸であると言わざるを得ない。

平屋内外部は、床、壁、天井と全てコンクリートのままの素材であり、天井スラブには躯体に打ち込まれた無数の穴が規則的に並び、その屋根の上の白い剥き出しの空間から照明や空調がその穴に供給されている。スラブの打たれた2階の床(平屋の屋根)はどうなっているのかと興味を湧く。商業空間でありながら外と内をここまで共存対比させながら感じさせ、またそのコントラストが美しい空間体験は初めてであった。

誰もが目にする事があるコンクリート躯体の床壁天井、白いスケルトン空間の設備スペース、白い展示台、鏡や検眼の機器類。極めて平凡なエレメント、その関係性、組み合わせを少しズラす事により全く異なる美しい空間に仕上げる力量は素晴らしい。また商品際の細やかな機能に対する配慮も充実している。PCを打ち込む際の丸い小さな穴は、平屋の内外壁に存在し、鏡や商品などの展示の可変性に対応している。



また、白い展示台も眼鏡に合わせた窪みが施され、商品を綺麗にディスプレイ出来る機能と窪みの持つ陰影がデザインとして美しい。

今回の審査員の一人が、物販店をリノベーション出来ない事前提に創りきってしまう勇気は凄いと評価していた。が、実は平屋の躯体こそをあえて残す事がコンセプトである。京都の街は、木造の躯体(屋根、梁、柱)を残し、その他の部分をリノベーションして再生を繰り返す時代の繋がっていく。「残すものと変えるもの」という手法を建築家である作者は意図しているとの事である。

この数年建築家のデザインする商業空間は、従来のインテリアデザイナーの創り出す空間と表現も手法も異なり、JCDアワードを数多く受賞してきた。その考え方や手法は、建築家ならではの社会の持つその時代の問題解決の為のプログラムからの提案であったり、それこそ建築からインテリアまでの一貫貫のデザインであったりしてきた。その為、建築、インテリア、グラフィックの関係は非常に曖昧になり、空間に携わるクリエイターは境界を感じさせずに器用に、また自然に空間表現を出来るようになってきた。しかし、この作品は、路面の眼鏡店というごく平凡な条件での商業空間である。それにも拘らず、この作品の新鮮さ、存在感は異彩を放っている。

建築空間の中にも一つの空間を創る手法は古くからインテリアデザイナーが行ってきた。それはインテリア空間をあえて孤立させ、独自の内部空間を表現したものが多い。建築家やインテリアデザイナーが行ってきた手法と全く異なるコンセプトが新しくかつ大胆さと繊細さを持ち合わせた点、そしてそのどこか一部を切り取っても、美しく機能的でもある点が高く評価された。そしてこの店は作品性が高過ぎて、敷居が高く入り難い、売れないと云う事はなさそうである。大勢の日本人外国人が気軽に入店するカジュアルさも持ち合わせている。数百店舗展開するこの眼鏡店にこの空間を発想してプレゼンをして説得した作者の創造力に拍手を送りたい。(大賞評:小坂竜)

金賞 **PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE 上海**
 (株)モーメント / 平綿久晃、渡部智宏

金賞 **Hotel Mono**
 Spacedge Designs/William Chan

金賞 **丘の礼拝堂**
 百枝優建築設計事務所 / 百枝優 撮影:針金洋介

金賞 **天理駅前広場 CoFuFun**
 nendo / 佐藤 オオキ 撮影:太田拓実

銀賞 **丸徳家具店**
 Koizumi Studio/小泉誠

BAKE CHEESE TART あべのハルカス店
 やぐゆぐ道具店 / 鈴木文貴 撮影:西岡潔

鈴木恵千代賞
 青木淳賞・谷尻誠賞

SK-II MASTERPIECE STORE GINZA
 (株)乃村工藝社 / 鈴木祥平 撮影:(株)ナカサアンドパートナーズ 河野政人

LOFT Siam Discovery
 (株)モーメント / 平綿久晃、渡部智宏

ブルーボトルコーヒー中目黒カフェ
 (有)スキーマ建築計画 / 長坂常 撮影:太田拓実

デサントブラン 丸の内
 (有)スキーマ建築計画 / 長坂常 撮影:kentahasegawa

XYL 吉祥寺店
 (有)トネリコ / 米谷ひろし、君塚賢 撮影:浅川敏

M-PREMIER 仙台パルコ店
 (有)文田昭仁デザインオフィス / 文田昭仁 撮影:(株)ナカサアンドパートナーズ

ニクノトリコ
 (株)家所亮二建築設計事務所 / 家所亮二 撮影:(株)ナカサアンドパートナーズ 梅津聡

Falo
 (株)Mosaic Design/ 中村航 撮影:藤本一貴



賞 枚方 T-SITE

(株)竹中工務店 / 原田哲夫、宮島照久、牛戸陽治



撮影:(株)ナカサアンドパートナーズ 中道淳

中目黒高架下

(有)丹青社 / 中村耕一郎



撮影:Nacása & Partners Inc

撮影:PIPS INC.

Siam Discovery

(株)乃村工藝社 onndo / 隅廣泰介、鈴木祥平



撮影:太田拓実

Ciel by Natural

タカラスペースデザイン(株) / 湯口巖



女神の森セントラルガーデン

永山祐子建築設計 / 永山祐子、山岸大助
(株)竹中工務店 / 大石卓人、伊藤周平



黄金町の切込

パーシモンヒルズ・アーキテクト/柿木佑介、廣岡周平
ホレス・パン賞・森田恭通賞
新人賞・五十嵐太郎賞



撮影:長谷川健太

ステップガーデン 札幌フコク生命越山ビル

建築設計:清水建設(株)一級建築士事務所 / 梶谷正和+西村健
インテリアデザイン:(株)フォルドフォー・デザインオフィス / 志村美治+井筒英理子



撮影:後藤晃人

撮影:島尾望

THE WONDER ROOM

(株)乃村工藝社 onndo / 鈴木祥平



撮影:太田拓実

glasses shop

iiiudesign/kai lun Huang



撮影:hey!cheese

GINZA SIX

(株)キュリオシティ / グエナエル・ニコラ



撮影:繁田諭

2017年 日本の空間デザイン展

広報委員会 委員長 斎藤 俊二

年末の恒例となった「日本の空間デザイン展」が、2017年12月7日(木)~11日(月)の5日間、昨年同様 グランフロント大阪A棟12階 コイズミ照明株式会社様「KLOS」にて開催されました。日本を代表する空間デザイン系の4団体が、様々なジャンル毎のコンペディション入賞作品を各団体ごとに工夫を凝らし、見やすく分かりやすい展示をされて、まさに空間デザイン系の『今』を感じる事ができました。大変に素晴らしい作品が年々増えており、時代の象徴ともなる展示会なのでは感じております。

このデザイン展の一番の目的は、空間デザインを目指す学生や若手クリエイターが刺激を受け、これからの日本の空間デザインをどう考えるか?また興味を



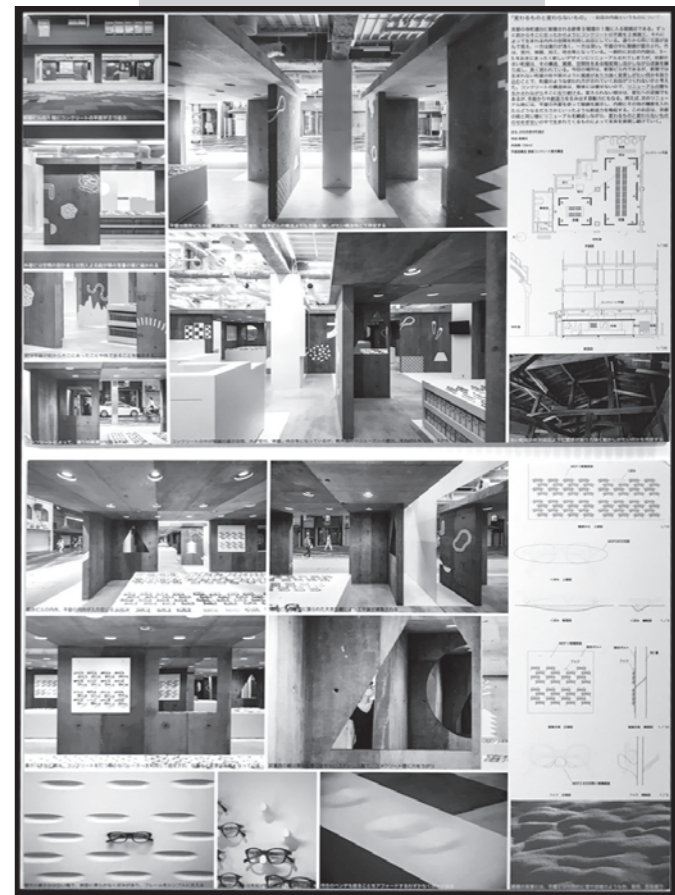
日時: 2017年12月7日(木)~11日(月)
10:00~18:00(最終日17:00)
会場: グランフロント大阪A棟12階
コイズミ照明(株)ショールーム「KLOS」
来場者数: 88名

持ってもらえるか?の考察を行えるとても有意義な場であると考えております。が、残念なことに開催期間中の入場者数は、最終日の16人を加えても100人に届きませんでした。開催告知や会場への誘導を踏まえて、PR方法など多くの課題が残ってしまいました。



大賞作品

JINS 京都寺町通店
(株)中村竜治建築設計事務所 / 中村竜治



JCD/JIDA/JID/
KIPA 4団体共催 関西デザイン学生シンポジウム2017

広報委員会 栄 隆志

毎年恒例のデザイン4団体による「関西デザイン学生シンポジウム2017」が10月20日(金)に淀屋橋駅近くの高麗橋BLACK BOXにて開催されました。今回のテーマは「グローバル」。世界全体・地球規模という幅広い意味合いを持つテーマとデザインとの関わりについて、学生たちの自由な発表が行われました。

今回の発表は4校の大学と1校の専門学校で行われ、今年初参加の第一工業大学建築デザインチームは遠方の九州、鹿児島から参加して頂きました。

JID「摂南大学理工学部環境デザイン学科」からは、まず4名がグローバルをWorld Cafeと捉え、それぞれがユニークなカフェのインテリアデザインを提案。あと2名はそれぞれフィリピンとカナダでのワークショップを通じ、身を以て地域との共生を体験したことをレポートしました。

KIPA「神戸女子大学家政学部チーム」は地元神戸の街を観光都市として発展させることを目指し、大胆にもポートライナーを延伸し新幹線と神戸空港をつなぐことを提案。駅舎から車両、モニュメントと解りやすいプレゼンテーションを行いました。

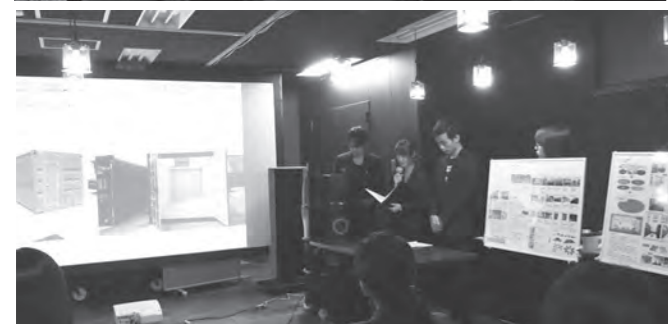
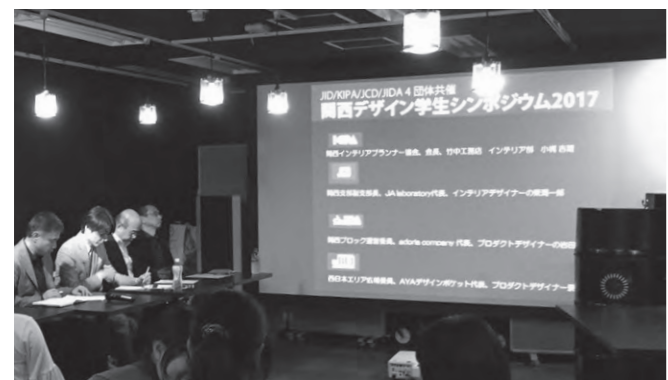
日時：2017年10月20日(金) 17:30～19:50
 コメンター：東潤一郎(JCD) 岩田浩司(JIDA)
 景山隆司(JID) 小椋吉隆(KIPA)
 会場：高麗橋BLACK BOX
 参加者数：約71名

もう一つKIPA「第一工業大学建築デザインチーム」は鹿児島からの参加ということで幕末を生きた篤姫に焦点をあて、もしも篤姫がワンルームに住むとしたらという仮説のもと、そのインテリアを提案しました。

JCD「大阪モード学園インテリア学科チーム」は運送用のコンテナを利用して震災後のコミュニティづくりを考えました。コンテナを使い地域、人に寄り添ったデザインを目指し、解り易く、クオリティの高いプレゼンテーションで説明をしました。

JIDA「大阪芸術大学インダストリアルデザインチーム」はグローバルを異文化交流と捉え、「ええやろ大阪」と命名し、道頓堀のグリコの電飾看板を題材に、もののデザインではなく大阪の街での出来事を企画し、思い出作りを提案しました。

4名のコメンターからはそれぞれの確かな辛口の指摘や批評がなされましたが、総じてこれからの若い人を育てようとする暖かいコメントであると感じました。また、コメントにもあったのですが、校内でなされる講評会ではなく、他の学校の人々とまじりプレゼンテーションすることで、自分たちのレベルを知り、さらなるレベルアップできる良い機会になったのではないかと感じました。



<大阪市立住まい情報センター+JCD関西支部タイアップ事業>

夏休み！親子de体験セミナー こどもたちと創る空間

関西支部 支部長 中村 裕輔

●ワークショップ 模型でお店をつくろう！

毎年恒例になった住まい情報センターとのタイアップ事業で、今年も商店街の模型作りのワークショップを開催しました。

このワークショップの特徴は、模型づくりの材料を使うのではなく、本物の建築資材を使うことであり、協賛会社さんにはセミナーの趣旨をご理解いただき、各種の建材を提供して頂きました。

セミナーはまず天神橋筋商店街の視察。商店会の戸和理事長から、商店街の歴史や様子を伺い、こどもたちは興味津々でお店を回りました。先日オープンしたての貴金属店「カザリオ」さんでは、お店の床・壁が自然の材料でつくられていることや、実際の琵琶湖の葦を壁材に使っていることなどの説明をして頂き、皆感心して聞き入っている様子でした。

マテリアルは、「日頃見ることの少ない建材」という形で並べられ、その中から自分のお気に入りのものを選びました。頭の中で創造がどんどん広がっていく様子が手に取るように感じられました。改めてこどもの自由な発想力や想像力に驚かされた感じです。あっとい間に数少なくなってしまったマテリアルですが、今回は例年に比べ若干量が少なく、このことは反省の材料のひとつです。

日時：2017年7月29日(土) 10:30～16:30
 会場：大阪市立住まい情報センター 3階ホール
 参加者数：56名(こども(小学生)29名、保護者27名)
 講師陣：【JCD関西】中村裕輔・橋本健二・益田裕紀・白井進・衣笠和宏・友田みのり・藤村正継
 【賛助会員】沖山聡弘(サカイ)・小野俊介(マックスレイ)・塚原隆明(田島ルーフィング)
 【一般】猪木陽子(関西インテリアプランナー協会)
 【住まい情報センター】本藤記子

最後に出来上がった作品をみんなで並べ、商店街をつくり、アイレベルのウォークスルーで動画を撮影しました。

その後の動画上映では、まさしく小人になって夢の国の商店街を歩いているようで、こどものみならず保護者の方からも驚嘆の声があがっていました。みんな自分のお店の前を通り過ぎるのをわくわくして見ていました。

参加者はこども(小学生)29名、保護者27名で合計56名の方に来ていただきました。定員30名に対して40名以上の応募があり、又、当日のキャンセルもほぼなく盛況に締めくくりました。



JCD関西支部 春の学生向けイベント「履歴書を書く前に」

研究委員会 副委員長 益田 裕紀

2017年4月8日、就職活動中の学生向けにイベントを開催しました。会場はJCD関西副支部長東氏設計の銭屋カフェ。同敷地のホールに予想以上の人が集まりました。

第一部は関西を拠点に全国で活躍する若手デザイナー7人によるトークセッション。環境が違いながらもそれぞれ空間設計に携わるデザイナー達が、今に至る経緯とデザインに対する考え方を話し合い、自身の設計活動と社会との関係性についてトークは展開され、作品のプレゼンテーションでは伝わりにくい、キャラクターの見えるトークセッションとなりました。



日時：2017年4月8日(土) 第一部15:00～
第二部17:00～ 第三部18:30～
会場：銭屋カフェ+銭屋ギャラリー+銭屋ホール
参加者数：58名(学生34名、引率1名、一般2名、ゲスト9名、
スタッフ12名)
ゲスト：石丸 耕平 (株)インフィクス代表取締役
松本 直也 (株)松本直也デザイン代表
田中 陽子 (合同)田中陽子デザイン事務所代表
太田裕美子 (株)乃村工藝社
東 潤一郎 ジェイ・エー・ラボラトリー代表
ヤギタカシ Love the Life/京都造形芸術大学准教授
伊藤 愛 (株)日建スペースデザイン

第二部は来場した学生と、トークに参加したゲストによるポートフォリオアドバイスを開催。参加した学生は積極的にポートフォリオを見せてプレゼンし、デザイナーとの活発な意見交換が行われました。学生に



とってネットなどの情報では聞けない事を提供し、デザイナーにとってもパートナー探しとなる貴重な場になったと思います。

イベント終了後は同会場にてクロージングパーティーを開催。普段まとまって話をする事が難しい、個人事務所と組織事務所のデザイナー、学生との交流は、参加した全員にとって価値のあるものでした。

JCD関西支部 クリスマスイベント「空間の未来へ」

研究委員会 委員長 橋本 健二

今回は写真家 泊昭雄さんをゲストに迎えトークショーを行いました。

広告・インテリア・静物の撮影をされ静けさと美しさを感じさせてくれる泊さんの写真ですが、どういった想いで普段撮影に取り組まれているのかを聞き出せたらと思い、作品の解説と質問を交えながらの時間でした。

普段私たちデザイナーは、デザインした空間を写真家に撮影を依頼しますが、その場合どなたに依頼するか考えます。昔の写真家は怖い方が多くて、なかなかアングルの希望も言えなかった記憶があります。インテリアと建築の場合も分かれていたように思います。広告写真も また違った表現だったような……

日時：2017年12月8日(金)
18:30～賛助企業PR会
20:00～トークイベント
場所：細野ビル(西長堀)
参加者数：参加人数57名
正会員12名、一般23名、学生1名
賛助会員12社
(コラボ展示8社4組、単独展示5社)

私たちが思う写真家の表現と反対に写真家から見た空間を、どのように感じとられているのか聞けたように思います。

デジタルの世界観が普及し、デザインの世界と同じように均一されていったように思いますが、アナログを経験していった世代との違いも感じます。



コラボ展示1位は
サカイ×マックスレイ
チームでした!!

2017年度 賛助委員会 活動報告

賛助委員会 委員長 衣川 正一

2017年の賛助委員会はコラボレーションをテーマに活動しました。

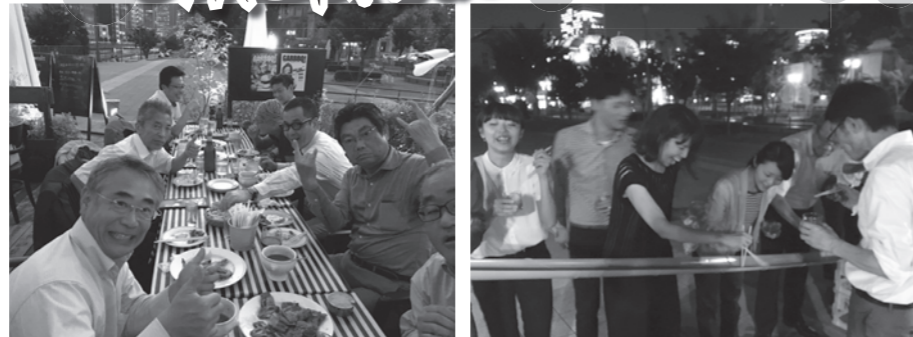
3月、5月の委員会で提案、7月の委員会ではスリーエムジャパン社・リンテック社・東洋インキ社のケミカルメーカー大手をゲストに招いた都会バーベキューを開催しました。

製品に至るまでの素材を使った提案・製品同士を組み合わせた提案・照明器具とインテリア材料、照明器具と家具の陰影を設計した提案など多岐の企画を経てクリスマスパーティーで発表しました。

これからもテーマを持った企画で皆様の感性を揺るがすPR会を実施してまいります。



ビアパーティは都会バーベキュー!!



2017年度 広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長 斎藤 俊二

2016年度から、2年間にわたり、新体制での広報委員会を通じて、各委員会の企画したイベントの取材と記録、賛助会員の新品や企画の発信そして、内外への情報発信やホームページへの掲載等を随時活性化し、JCD関西の魅力を最大限に広める活動を行なってきました。そして、本年度より交流委員会との情報をより収集し、新たな活動拠点となる委員会として【URATA BAR】を立ち上げ、よりぎっくばらんな意見交換の場として、賛助会員の方々の意見も頂き、更には下半期から支部長をはじめとした合同委員会とも合流し、月一度の懇談会形式での定例会議を開催して

参りました。活動テーマは昨年同様に、JCD関西の魅力を最大限に広める活動をしていくことでしたので、昨年度より問題意識をもって、より内容の充実した有意義な広報委員会の活動になったのではと思います。これからも、支部スローガン『集って楽しいJCD関西』を配信し、より会員アップに繋がる活動も展開して参りたいと考えております。



広報委員会定例会風景(2018年1月15日開催URATA BAR風景)



第1回URATA BAR風景(2017年9月4日開催)



関西支部 フェイスブックページ



最新情報はフェイスブックで!!

フォローをお願いします!

関西支部 ホームページ



年2回更新! 会報誌より一足早く活動報告がアップされます

Working Now

● 新入会員紹介 ●

中山 拓 Nakayama Taku | 株式会社スペース

有馬さんせん堂

stussy machida chapt.

玉野ショッピングモール MERCA (SDA award 2017 中国地区デザイン賞)

Time 一宮店

学生の頃から憧れていたJCD。活動を通して、会員の皆さま方とお話できる機会を大切にしていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いたします。

株式会社スペース
商環境研究所 中山 拓

株式会社 スペース
SPACE
〒550-0004
大阪市西区本町 3-8-10
TEL 06-6479-0277
www.space-tokyo.co.jp

||||| 新入賛助会員紹介 |||||

株式会社 plenty

PlentyはLED照明設計のプロフェッショナル企業です。「レンタル」「販売」「設置工事」「カラーLEDによる演出照明」など多くの可能性を秘めたLED照明を提供しています。

関連会社: 株式会社ルーメンジャパン (カナダの照明メーカー「ルーメンパルス」日本総販売元) カラーキネティクス・ジャパン株式会社 (LEDによるデジタルカラーライティング)

東京都品川区上大崎 2-25-5 久米ビル 6F TEL:03-5436-4877 FAX:03-5436-4878
大阪府大阪市淀川区西中島 4-12-12 大阪太平ビル 8階 TEL:06-6307-2288 FAX: 06-6307-2211
HP: https://www.plenty.co.jp/service/LED/index.html

ともに進化するあかり

Co-evolution LIGHTING

maxRAY
A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社
www.maxray.co.jp

TOKYO 03-3552-8287
OSAKA 06-6304-0505
NAGOYA 052-252-9556
FUKUOKA 092-431-7824

KOIZUMI

Innovative Office Lighting

オフィス照明の新たな潮流

今オフィス空間には、働く人や働き方の多様性に対応し、誰もが心地よく健やかに、そして十分に能力を発揮し、創造性・知的生産性を高めることができる環境づくりが求められています。コイズミは、新しい技術で次世代オフィスの照明空間をご提案します。

コイズミ照明 R&D センター

Line

ソリッドシームレスラインシステム

妥協のないディテールが建築美との調和を生み出すライン照明



R&D センター 6階

ミニマルデザインとまぶしさを抑えた光により、天井から壁、施工場所を選ばずシームレスな独自性の高い光で演出が可能な照明システム。



Circle

インダイレクト サークルベースライト

オフィス向けダウンライト型ベースライト



R&D センター 5階

光源がどこからも直接見えないグレアカット構造。3次反射板によって拡散配光を実現 (UGR19)。ダウンライト型のためレイアウトに合わせた自由度の高い照明計画が可能。



Square

パネル+リフレクターベースライト

快適な輝度感を実現したベースライト



R&D センター 4階

四方からのグレアカットを考慮した光学設計で、3タイプの光を効果的に融合させることで、柔らかな快適光を創り出します。



コイズミ照明株式会社

本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町 3 丁目 3-7
近畿店舗営業部 〒812-0011 大阪市東成区東中本 2 丁目 3-5 TEL.06-6975-7124 FAX.06-6975-7127



LIGHTING WORKS

伊太バル BLUCE 施主：MIK株式会社 設計・施工：株式会社スペース







“人をしあわせにする光”を追い求め、
そして生み出すために、
私たちはこれからもチャレンジを続けてまいります。

株式会社 遠藤照明

<https://www.endo-lighting.co.jp/>

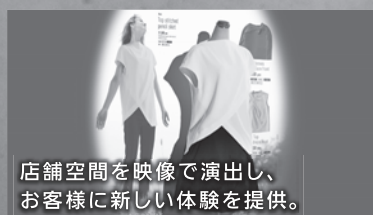
Panasonic



スポットライト型プロジェクター
Space Player
スペースプレーヤー

配線ダクトに
取り付けられる、
パナソニックのプロジェクター。

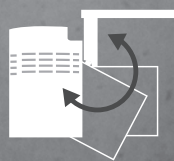
設置しやすい手軽な映像演出で、店舗リフレッシュやレイアウト変更に柔軟に対応できます。



店舗空間を映像で演出し、
お客様に新しい体験を提供。



配線ダクトに
取り付けOK!



首振り可能で
調整が自在。

スペースプレーヤーを自在に
扱えば、空間はより楽しくなる。
ぜひ、事例でご確認ください。



スペースプレーヤー

検索

※画像はイメージです。